

平成 26 年 10 月 31 日

資源エネルギー庁

平成 26 年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金の採択をします ～全 9 事業を採択～

経済産業省は、本日、地熱開発理解促進関連事業(三次公募)について、別添のとおり 9 件の事業の採択を決定しましたので、お知らせします。

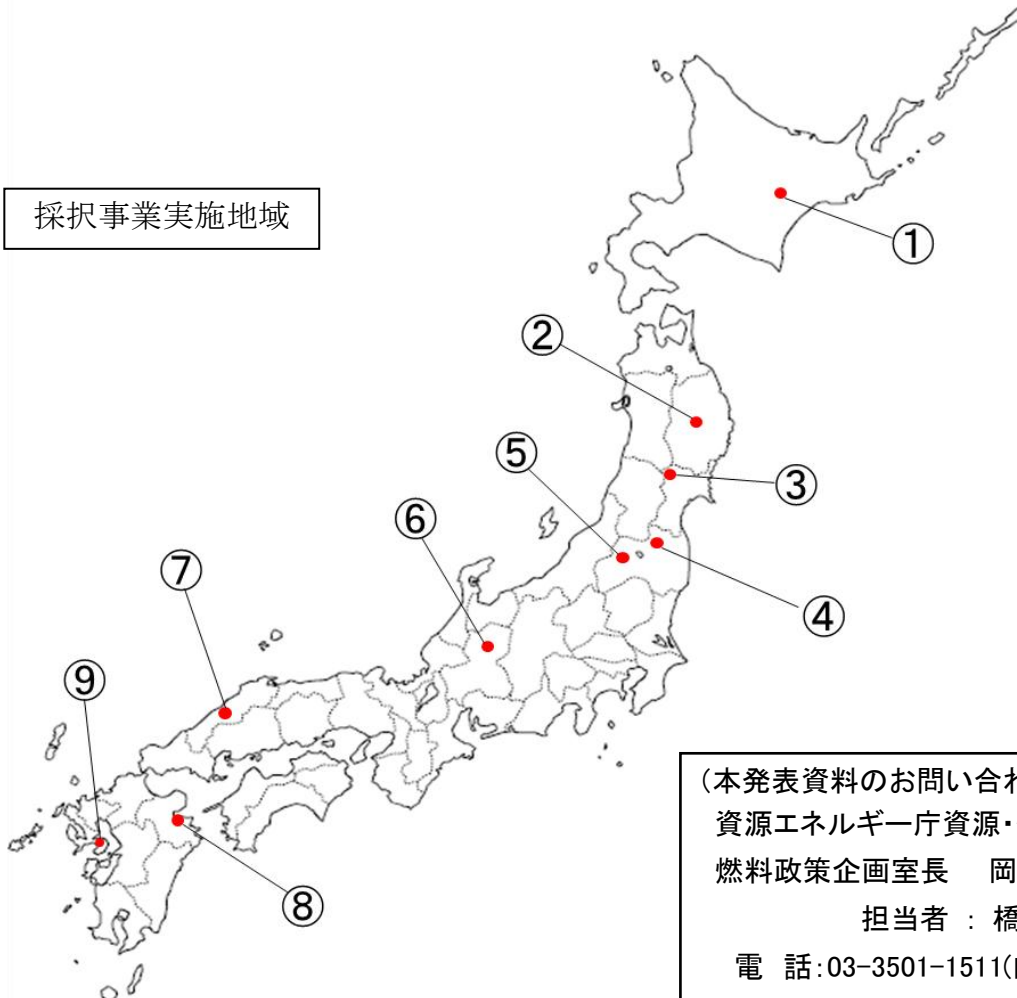
1. 補助事業の概要

本事業は地熱資源開発の推進を図るため、地方公共団体や温泉事業者等が地熱の有効利用等を通じて地域住民への開発に対する理解を促進することを目的として行う事業を支援するものです。

2. 採択決定

補助事業の採択は、各経済産業局において外部有識者等による審査委員会での結果を踏まえ決定いたしました。採択事業については別紙のとおりです。
なお、一次公募から三次公募まで、合計 52 件について採択いたしました。

採択事業実施地域



(本発表資料のお問い合わせ先)
資源エネルギー庁資源・燃料部政策課
燃料政策企画室長 岡本
担当者：橋本
電話:03-3501-1511(内線 4631~4636)
03-3501-2773(直通)

No	実施地域	事業者名	申請概要
北海道経済産業局			
1	北海道 <small>あしほ</small> 足寄町	足寄町 足寄町農業協同組合 アルス・ゼータ(有)	足寄町における温泉発電後の熱水を活用した施設園芸(イチゴ栽培等)の導入可能性を検討するため、勉強会や先進地調査、事業化可能性調査を通して、施設園芸運営に必要な熱収支やランニングコスト等を検証し、地熱発電や熱水利用への理解促進を図る。
東北経済産業局			
2	岩手県つなぎ温泉地域	つなぎ源泉管理有限会社 岩手県盛岡市	平成26年から、つなぎ温泉地域において地熱資源開発調査を行っており、当該地域における地熱開発へのさらなる理解促進を図るため、旅館組合や源泉所有者等の関係団体で構成する「つなぎ温泉地熱利用促進協議会」を組織し、講演会や先進地視察を実施する。
3	宮城県栗駒山南麓地域	株式会社白鳥建設	今後、地熱資源開発調査を予定している栗駒山南麓地域において、温泉関係者や産業団体等で構成する「栗駒山南麓地域地熱開発協議会(仮称)」を組織し、有識者を招聘した講演会の開催や先進地視察を実施することを通して、地域における地熱開発の理解促進を図る。
4	福島県土湯温泉地域	JFEエンジニアリング(株)	土湯温泉町復興再生協議会員等を対象に、地熱・温泉発電等の勉強会や先進地調査を実施し、講演会と併せて事業の成果を広く地域住民と共有するための報告会を開催することを通して、土湯温泉町における地熱開発に対する理解促進を図る。
5	福島県 <small>やないづ</small> 柳津町	柳津町	現在、稼働中の柳津西山地熱発電所の発電後の熱水について、開発事業者や有識者で構成する「柳津町地熱二次利用検討委員会(仮称)」を組織し、ハウス栽培事業や養殖事業の可能性調査を行い、その成果を報告書にまとめ、地域住民への地熱開発に対する理解を促進し、事業の実用化に向けた開発及び地域振興に繋げる。
中部経済産業局			
6	岐阜県 <small>おくみだ</small> 奥飛騨温泉郷地域	奥飛騨温泉郷源泉所有者協同組合	奥飛騨温泉郷地域における地熱開発に向けて、奥飛騨温泉郷源泉所有者組合が中心となり、有識者や専門家を招聘した勉強会及び先進地視察を実施し、地熱開発に対する理解を促進する。
中国経済産業局			
7	島根県 <small>ごうつ</small> 江津市有福温泉町地域	<small>ありふく</small> 有福振興(株)	有福温泉町地域における地熱開発に向けて、地熱発電に係る勉強会等の実施や地元関係者を対象としたバイナリー方式による小規模地熱発電プラントを稼働している先進地の見学会を実施し、地域における地熱開発に対する理解を促進する。
九州経済産業局			
8	大分県別府市	株式会社豊後クリーンエナジー	別途整備する地熱発電設備の発電後の熱水を利用して、冷暖房用の設備と熱交換機等の付随設備を整備する。このような地熱資源の有効利用を通して、地域における地熱開発に対する理解促進を図る。
9	長崎県雲仙市	(一社)小浜温泉エネルギー	前年度、文献データの収集調査や有識者を招いた勉強会を開催した成果を踏まえて、今年度は、より具体的な事業内容について検討することを目的に、地元漁業関係者と観光関係者を対象として、来年度の養殖施設整備に向けた勉強会及び先進地視察を実施することで、地域における地熱開発に向けた理解促進を図る。